

株式会社マルナカ様
購入商品情報管理システム
内部設計書 v1.0

株式会社 Toron

平成 30 年 11 月 29 日

目 次

1	js メソッド	3
1.1	ユーザログイン情報取得	3
1.2	店舗情報登録	4
1.3	店舗情報更新	5
1.4	店舗情報削除	5
1.5	ログアウト	6
1.6	特売情報登録	6
1.7	特価情報登録	6

1 js メソッド

1.1 ユーザログイン情報取得

- メソッド名 : AuthentivationUsed

Web ページでログインする際に、入力されたログイン情報がデータベースに登録されているか問い合わせを行うメソッドである。引数として、入力されたユーザ ID とパスワードを受け取る。また返り値はである。これは、データベース上にログイン情報が存在したか判定を行った結果を返すものである。

- 引数 1:user_ID
- 引数 2:password
- 返り値:IdentifivationNumber

- メソッド名 : SetJSON

JSON ファイルを作成するメソッドである。引数は、ユーザ ID とパスワードである。生成した JSON ファイルを返り値とする。

- 引数 1:user_ID
- 引数 2:password
- 返り値:JSONData

- メソッド名 : GetAutheticationUser

サーバーに JSON ファイルを送信するためのメソッドである。引数は JSONData である。

- 引数 1:JSONData

- メソッド名 : CheckAutheticationUser

サーバ内で該当するユーザ情報が登録されているか JSON ファイルをもとに検索するメソッドである。引数は JSONData である。返り値は IdentifivationNumber である。この変数の値は次のような意味を示す。

- 値が 1:ユーザが店長である場合
- 値が 2:ユーザが管理者である場合
- 値が 0:入力されたユーザ情報と該当するユーザが存在しないなどのエラー

- メソッド名 : ChangePage

引数の値に応じてページの遷移を行うメソッドである。引数は IdentifivationNumber である。

- 引数 1:IdentifivationNumber

1.2 店舗情報登録

- メソッド名：GetShopData

現在登録されている店舗情報をサーバから取得するためのメソッドである。このメソッドは、web ページを開いた時点で呼ばれる。引数はなく、戻り値は JSONData となる。

- 引数 1:JSONData

- メソッド名：GetShop

サーバ内で検索する必要なデータ・店舗情報・店長のユーザ情報

- メソッド名：CleateTable

JSON データや入力情報をもとに Web ページ上で表を作成するメソッドである。

引数として、JSONData もしくは、表に書き込む店舗 ID、店舗名、店長のユーザ ID のデータを受け取る。

- 引数 1:JSONData
- 引数 1:shop_ID
- 引数 2:shopName
- 引数 3:user_ID

- メソッド名：RegistrationShop

追加の店舗情報をデータベースに登録するメソッドである。引数は店舗 ID と店舗名、店長のユーザ ID である。戻り値は BooleanSuccess である。

- 引数 1:shop_ID
- 引数 2:shopName
- 引数 3:user_ID
- 戻り値:Boolean Success

また戻り値の値の意味は次に示す。

- 値が 0:データベースに正しく値が書き込めなかった場合
- 値が 1:データベース更新成功

- メソッド名：SetRegistrationShop

1.3 店舗情報更新

- メソッド名 : UpdateShop

店舗情報を変更する際の処理を行うメソッドである。引数は店舗 ID と店舗名、店長のユーザ ID である。返り値は Boolean Success である。

- 引数 1:shop_ID
- 引数 2:shopName
- 引数 3:user_ID
- 返り値:Boolean Success

また返り値の値の意味は次に示す。

- 値が 0:データベースに正しく値が書き換えられなかった場合
- 値が 1:データベース更新成功

- メソッド名 : SetJSON

店舗情報を変更する際に変更情報をサーバに送信するために JSON ファイルを作成するメソッドである。引数は店舗 ID と店舗名、店長のユーザ ID である。返り値は JSONData である。

- 引数 1:shop_ID
- 引数 2:shopName
- 引数 3:user_ID
- 返り値:JSONData

- メソッド名 : UpdateShop

サーバーに JSON ファイルを送信するためのメソッドである。引数は JSONData である。

- 引数 1:JSONData

- メソッド名 : UpdateTable

1.4 店舗情報削除

- メソッド名 : DeleteShop

店舗情報を削除する際の処理を行うメソッドである。引数は店舗 ID と店舗名、店長のユーザ ID である。返り値は Boolean Success である。

- 引数 1:shop_ID
- 引数 2:shopName
- 引数 3:user_ID
- 戻り値:Boolean Success

また戻り値の値の意味は次に示す。

- 値が 0:データベース上から正しく削除できなかった場合
- 値が 1:データベースから削除成功

- メソッド名 : DeleteTable

表から削除が完了したデータを削除するメソッドである。引数は店舗 ID と店舗名、店長のユーザ ID である。戻り値はない。

- 引数 1:shop_ID
- 引数 2:shopName
- 引数 3:user_ID

1.5 ログアウト

- メソッド名 : LogOutUser

ログアウトボタンを押すと、ログイン前の状態に遷移する動作をさせるメソッドである。引数と戻り値はない。

1.6 特売情報登録

- メソッド名 : GetsaleData

登録済みの特売情報を JSON ファイルで取得するメソッドである。引数はない。戻り値は JSON ファイルである。

- メソッド名 : GetSale

- メソッド名 : SetChoice

カテゴリと商品名の選択肢を作成するメソッド引数は JSONData であり、JSON ファイル中のカテゴリ名と商品名を必要とする。戻り値はない。

- 引数 1:JSONData

- メソッド名 : SetRegistrationSale

特売にする商品のデータベースに登録を行うメソッド引数は商品 ID である。返り値は Boolean-Success である。

- 引数 1:Registration_ID

また返り値の値の意味は次に示す。

- 値が 0:データベース上から正しく登録できなかった場合
- 値が 1:データベースに登録成功

- メソッド名 : SetDeleteSale

特売にする商品のデータベースから削除を行うメソッドである。引数は商品 ID である。返り値は Boolean Success である。

- 引数 1:Registration_ID

また返り値の値の意味は次に示す。

- 値が 0:データベース上から正しく削除できなかった場合
- 値が 1:データベースに削除成功

1.7 特価情報登録

- メソッド名 : SetRegistrationSpecialSale

特価にする商品のデータベースに登録を行うメソッドである。引数は店舗 ID と商品 ID と割引率と割引フラグである。返り値は BooleanSuccess である。

- 引数 1:shop_ID
- 引数 2:Registration_ID
- 引数 3:rate
- 引数 4:rateFlag

また返り値の値の意味は次に示す。

- 値が 0:データベース上から正しく登録できなかった場合
- 値が 1:データベースに登録成功

- メソッド名 : SetDeleteSpecialSale

特価にする商品のデータベースに削除を行うメソッドである。引数は店舗 ID と商品 ID と割引率と割引フラグである。返り値は BooleanSuccess である。

- 引数 1:shop_ID
- 引数 2:Registration_ID

- － 引数 3:rate
- － 引数 4:rateFlag

また返り値の値の意味は次に示す。

- － 値が 0:データベース上から正しく削除できなかった場合
 - － 値が 1:データベースに削除成功
- メソッド名 : SetUpdateSpecialeSale 売り切れた特価商品にイベントを起こすメソッドである。この際にデータベースの soldout の更新も行う。引数は店舗 ID と商品 ID である。返り値は BooleanSuccess である。
 - － 引数 1:shop_ID
 - － 引数 2:Registration_ID

また返り値の値の意味は次に示す。

- － 値が 0:データベース上から正しく更新できなかった場合
- － 値が 1:データベースに更新成功